

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2019年 2月26日

事業所名:児童デイサービス太陽の子

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらともいえない	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	2階建て戸建住宅を利用し広くスペースを確保していますが、利用人数増により、屋内の活動にはどうしても限界があります。庭や近隣公園、海への散歩等を活用し、工夫をしています。	11	9	0	指定基準の一人あたりの2.47㎡は確保していますが、手狭に感じるのは事実です。安心して過ごしていただけるよう、機能別な部屋の役割を確立していきます。
	2 職員の適切な配置	現在職員は、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員3名、指導員2名合わせ6名が在籍しております。日々、指定基準に基づき配置しています。	15	5	0	職員一人一人が自分の得意な分野を子どもの成長に繋げられないかと日々研鑽を積んでいます。職員が送迎に出てしまうと、職員数は減りますが、支援に影響がでないようチームワークで補っています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関入り口に段差があるなど、バリアフリー化はできていません。また、階段には手すりはありますが、完全に行なうのは難しいところがあります。必要にあわせて個々に対応しています。	8	12	0	施設の構造上難しいところがあります。1階室内は段差もなく安全に考慮していますが、今後も検討を重ねていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	使い捨てのペーパータオルを使用し、タオル類は使用していません。机を拭くのもアルコールタオルを使用し、使用後は捨てています。掃除はもちろんですが、毎日行い。清潔を保っています。	/			
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々のミーティング等を活用し話し合う機会を持ち、職員一人一人ができることを認識し取り組むようにしています。共通理解をし、支援へ繋げています。	/			
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は実施できていません。過去に評価機関の方を招いてお話を伺ったことがありますが、実施までには至らなく今日までできてしまいました。概要は把握しています。業務の改善に活かしています。	/			
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修のお知らせは掲示し職員の目に付くところに置いてあります。日々のミーティングのときにも提示しています。開催日時に考慮し参加を促しています。	/			
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	相談員からのサービス利用計画を確認し、子どもと保護者のニーズや課題を聞き取り、児童発達支援管理責任者が原案を作成しています。その原案を元に、職員からの意見を活かしながら作成しています。	19	1	0	子どものいろんな場所でのいろんな顔を知ることができる機会になります。しっかりと情報を整理し、私たちができる、より良い支援に繋げていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別活動では子どもの状況を見ながら内容や時間を保証するようにしています。集団活動では、子ども同士の関係性を十分に考慮しています。適宜組み合わせられるよう努めています。	/			
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもの支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容を記載しています。	/			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画は個人ファイルに各自入れているので、いつでも確認できます。計画に沿って支援ができる体制にあります。				
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	日々のミーティングで職員個人の想いを話し合っています。得意な分野で、楽しい時間をすごしてもらえるよう。試行錯誤の連続です。				
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日だからできること。休日だからできること。長期休暇中だからできること。それぞれ大事な日々になります。普段できないようなことや、時間がないなかでもできること、使い分けを行い充実できるよう支援内容を考えています。				
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	その日の気分や調子に合わせて活動内容を変えることはできますが、基本をしっかり行なった上での延長線であると考えています。子ども一人ひとりにあった支援を考えています。	18	2	0	子ども第一で考えています。こちらの考えを押し付けたくないです。ゆっくりでいいから少しずつ成長できたら、そのお手伝いができたらと考えています。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日々支援開始前にミーティングを行っています。一日の流れを把握し、学校行事等とも重ね、疲れ具合、気持ちを量っています。昨日はこうだった、家ではこうだったらいいと保護者からの情報も交え行なっています。				
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後には、忘れ物がないか確認し、明日への引継ぎ等を話し合いながら今日を振り返り、情報の共有を行なっています。				
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援は個別記録に記しています。体調から食欲、本人の機嫌まで確認しています。支援の検証や改善に繋がっています。				
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングを実施しています。モニタリング結果をふまえて放課後等デイサービスの計画を見直しています。				

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	/			
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	/			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	/			
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	/			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	/			
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	2	10	8	いきなりは難しいと考えますのでできる事から一歩ずつ進んでいこうと思います。まずは少人数でチャレンジしていきたいです。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	/			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明しています。上限管理や負担額のこと、おやつ代等も含めて説明しています。	20	0	0	今後も継続して行なっていきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	送迎の際や、少しの用事でお伺いする場合等、常に示しながらの説明はできていませんが、面談の時に説明させていただいています。	/			
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在ペアレント・トレーニングは行なっていませんが、保護者から相談があれば一緒に考え、よりよくなるよう支援しています。	/			今後も継続して行なっていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	事業所での様子は送迎の際に口頭と連絡帳でお伝えさせていただいています。他に、メールや電話等でも行い、共通理解に努めています。	18	2	0	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者が希望した場合、メールや電話、面談で応じています。相談いただくことで、その子どものことを考える時間が増えるので、いい機会になります。	19	1	0	今後も継続して行なっていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在保護者会等の連携支援は行えていません。今後行なえたらと考えています。	2	7	11	日時設定等を難しいと考え、なかなかできない状態が続き、申し訳ございません。少ない参加でもいいから開催していけたらと考えます
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情窓口は契約書に提示しています。対応体制も整備していますが、周知ができていません。今後周知をしていきます。	16	4	0	周知をさせていただきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者が一番子どものことを知っていると考えています。僅かな変化や行動など保護者にアドバイスをいただきながら支援に繋がっています。	17	3	0	今後も継続して行なっていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月の会報「たいよう通信」を発行しています。活動内容やスタッフ紹介など、子どもと一緒にみて楽しんでいただけたらと思い行なっています。ホームページとブログの更新が滞っているので再開したいです。	17	2	1	ホームページ、ブログを再開し、発信の機会を設けます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取扱いには十分な配慮をしています。情報の保管場所は施錠ができるロッカーを使用しています。子どもの会報での顔出しも保護者の承諾を得て行なっています。	18	2	0	今後も継続して行なっていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルは用意してあります。職員にも周知手の届くところにいつも置いてあります。しかし、保護者への周知はできていません。今後行なっていきます。	8	9	4	周知させていただきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	明石市消防本部に依頼し、立会いの下、火事を想定した避難訓練は行っています。また、地震のときのマニュアルも確認できるようになっています。しかし、訓練当日、参加していない子どもはできていませんので、全員が参加できるよう工夫していきます。	5	9	5	避難訓練を全員が行えるよう体制を整えていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待に関する、研修資料や新聞の切抜き等で、日頃から意見を出し合っています。虐待が疑われるときは、関係機関と連携し適切に対応したいと考えます。	/			
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行なっていません。ただ、研修資料として用意したマニュアルはあります。	/			
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在医師からの指示書の元、対応している子どもはいませんが、保護者からの情報を職員で共有し飲み忘れがないよう徹底しています。また、薬が変わった時は食べ合わせも含め、必ず調べるようにしています。	/			
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの報告書は作成しています。事故が起こらないよう職員間で共有しています。事故のないよう徹底しています。	/			